



電動モビリティシステム専門職大学について

2023年4月に山形県飯豊町に開学予定

1

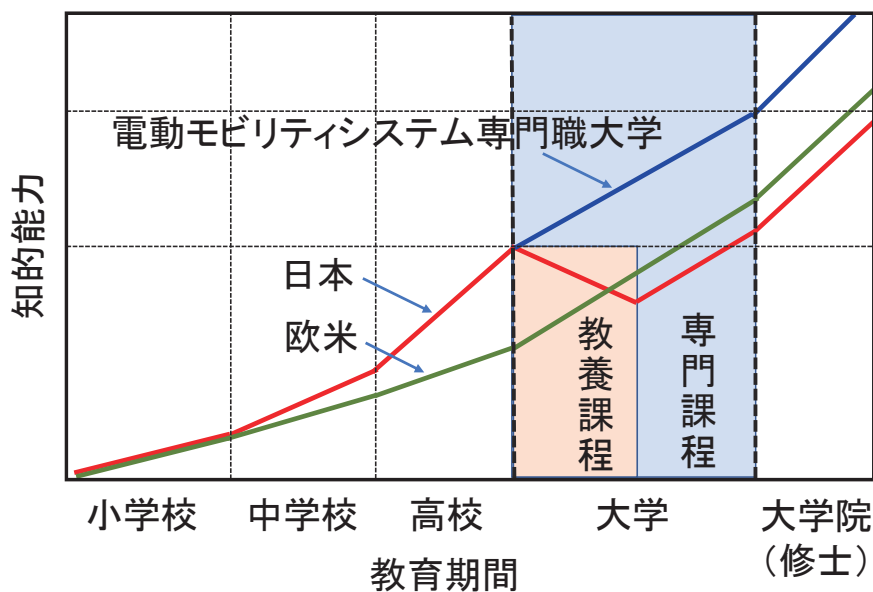
はじめに

- 本学校法人赤門学院は、電動モビリティシステム専門職大学の2023年4月の開学を目指して、文部科学省への申請を行い、現在審査中です。
- 本大学は、100年に一度の自動車の大きな変革に対応するための人材を養成することが目的です。
- 物理、化学、数学の基礎から、電気自動車と自動運転の開発、普及に至るまでを学び、即戦力となる技術者・設計者を養成する教育、研究を行います。

卒業生は自動車産業を牽引する経営者にまで
上り詰める人材となることを目指します。

2

日本と欧米の教育水準



専門職大学は、専門課程を主に構成されている。

一般大学は、教養課程の後に専門課程が配置されている。

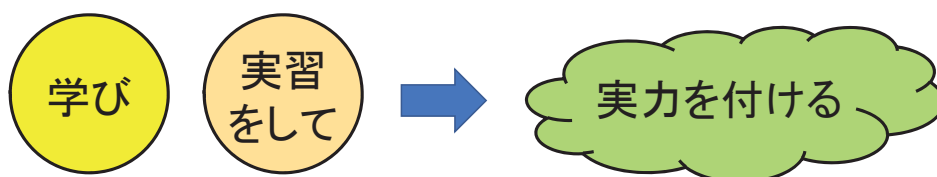
教養課程で進歩が一旦止まるのが日本の大学教育

3

日本の大学教育の反省から専門職大学が生まれた

これまでの大学は2年間の教養課程があった。

- 入学後、すぐに専門課程の教育を行う
- 実習を重視し、講義と実習の併用で専門知識を体得する
- 本学では1年生の時から**研究室に入り研究を始める**



高校時代の高い教育水準をもとに
切れ目なく実力を養う教育制度です。

4

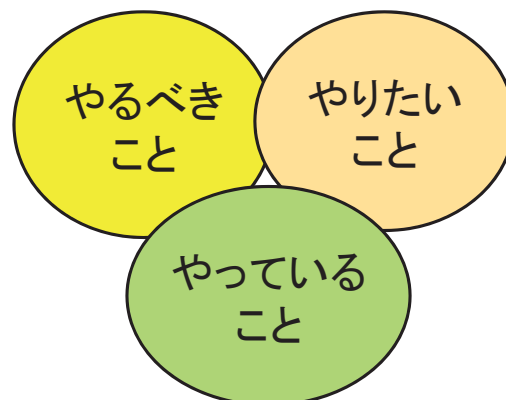
皆さんはどんな仕事に就くことを望みますか

● 社会の要請

- 温暖化の対策
- 人間の健康の維持
- 紛争の無い社会の実現

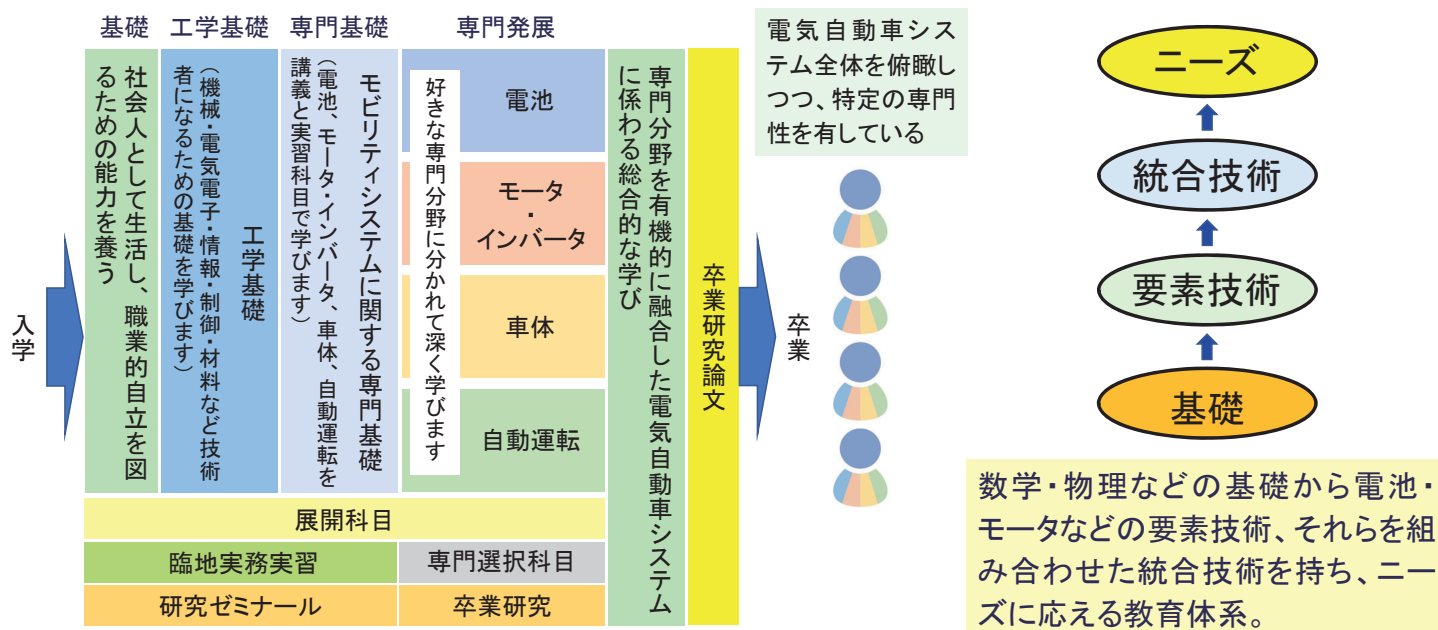
● 好きなこと

- 小さいときから好きだったこと
- 自分が良く分かること
- 性格にあっていると思うこと



人生の幸せについての私の考えは
やるべきこと(社会の要請)、やりたいこと(好きなこと)、
やっていること(自分の仕事)を一致させること。

電動モビリティシステム専門職大学の教育体系



ユーザーと社会のニーズに応えるための基礎と応用

どんな受験生に来てほしいか

- 地球温暖化を何とかしなくてはと思っていたり、
- 夢のある仕事に就きたいと願っていたり、
- 車や乗りものが好きだったりする、

……受験生

好きなことを早く始めたいと思っている受験生

7

卒業後の進路

① 世界中の産業界へ

自動車会社
部品製造会社
自動車関連サービス など

② 世界中の大学院へ進学

学部で学んできた分野をさらに深める
学部で学んだ専門知識をもとに新しい分野
を選ぶ

大学院でさらに研究

卒業して就職



想定される活躍の場

- 電気自動車・自動運転車両の研究開発分野
- 自動車製造業分野
- 自動車部品サプライヤー
- 自動車関連産業の資材部門
- モビリティ関連ビジネスを創出するIT企業やスタートアップ企業 など

電動モビリティ社会のパイオニア(Pioneer in e-Mobility)を養成します

8

まとめ

- 電動モビリティシステム専門職大学設立の目的と、入学してほしい学生のことについて説明しました。
- 自動車の社会が大きく変わり、それに伴い生活も変わります。
- 温暖化を解決したくて、新しいことへの挑戦を望み、乗り物が好きだったら、是非、受験してください。



ひと月だけの春の絶景 白川湖の水没林

2023年の4月に皆さんを迎える準備をしています